



新型コロナウイルス 感染症への対応と

3つの柱



新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス ワクチン接種体制の確保 【継続】8億855万円

新型コロナウイルス感染症の発症予防や重症化予防のために、希望する市民が接種を受けることができるよう、体制を整備してワクチン接種を着実に進めます。

PCR検査費用の一部助成 【継続】1,506万円

感染に対する不安感を解消するとともに、感染者の早期発見により感染拡大を防止するため、自費診療でPCR検査を受けた場合に検査費用の一部を助成します。



自宅療養者への支援 【継続】100万円

新型コロナウイルスに感染し、自宅療養となった市民とその同居の家族等の濃厚接触者に対して、食料品等の支援を行います。

2つ目の柱 デジタル技術の活用



自治体DXの推進 【新規・拡充】3,651万円

各種手続きのオンライン化や、公共Free Wi-Fi導入施設の拡大を進めます。また、窓口業務についてICTの活用を含むさまざまな手法による市民サービス向上や業務効率化を図るため、民間提案制度を実施します。



情報発信の充実 【拡充】106万円

古河市のLINE公式アカウントをリニューアルし、新型コロナウイルスワクチン接種予約に加えて、市からの情報発信や市民からの通報受付などの機能を強化します。

3つ目の柱 子ども子育て支援の強化



ヤングケアラー等への 対策 【新規】300万円

ヤングケアラーや生活に困窮する子どもに対する支援のあり方を検討するため、実態調査を実施するとともに官民協働の地域ネットワークの構築と庁内の支援体制の整備を目指します。

公立保育所の 長寿命化対策 【継続】1,192万円

公共施設等総合管理計画個別計画に基づき公立保育所の長寿命化対策を実施します。今年度は第三保育所の長寿命化に必要な実施設計を行います。



1つ目の柱 活力ある地域づくり



重層的支援体制の整備 【新規】610万円

介護や子育てなどのさまざまな生活課題について、市役所を含む関係機関と関連施策の連携により問題解決に当たる支援体制を整備します。



観光組織の体制強化 【新規】1,870万円

観光振興の中核的な役割を担う組織として法人化する古河市観光協会と連携し観光事業の促進を図ります。

